

CentreCOM® AT-TSシリーズハブ ファームウェアバージョンアップについて

この度は、AT-TS シリーズハブをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
本書は、ファームウェア (Omegaソフトウェア) のバージョンアップにおいて修正された内容を、
お客様にお知らせするものです。
最初に本書をよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 バージョン 4.1.J8 で修正された項目

ファームウェアバージョン 4.1.J7 から 4.1.J8 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

AT-TS シリーズハブはスタック接続した場合や Telnet 経由で本製品に対する操作、設定を行った場合に多くのメモリー領域を消費します。このような状況が重なった場合、まれにメモリー領域に異常が発生し、メニュー画面上の Hub 名称が文字化けを起こす、本製品宛ての通信ができなくなるなどの現象が発生していましたが、これを修正しました。

2 バージョン 4.1.J7 で修正された項目

ファームウェアバージョン 4.1.J6 から 4.1.J7 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

セキュリティー機能を使用している場合、エラーパケットを受信したあと、正常なパケットを受信しても MAC アドレスを学習しなくなることがありましたが、これを修正しました。

3 バージョン 4.1.J6 で修正された項目

ファームウェアバージョン 4.1.J5 から 4.1.J6 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

セキュリティー機能を使用しているときにコリジョンが連続して発生した場合、まれに、未登録の MAC アドレスからのデータ受信と誤認識してセキュリティー機能が働くことがありましたが、これを修正しました。

4 推奨事項

セキュリティー機能を使用する場合は、1つのポートに1つの端末を接続した環境でお使いになることを推奨いたします。